

ORIC NEWS

翔飛

ひし
よう

入居企業紹介 シームスブレインズ株式会社

私立小中高向け校務支援システム

教職員間の情報共有により、
効果的な生活指導と業務の効率化を実現。



SIEMS
Students Information & Education Management System

2019年7月5日(木) 山崎 多香子
出欠の入力漏れがなくなりました！
出欠を見逃してしまいました！
連絡依頼があります！

生徒の予定
明日の予定
洗剤事項
情報連携(外部連携)
特別授業費(計帳)

SIEMS
BRAINS

シームスブレインズ株式会社
Student Information & Education Management System

★会社概要

グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化社会など、この21世紀を生き抜くための人材を育成するため、これからの学校は、基礎的・基本的な知識や技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、多様な人間関係を結んでいく力や習慣の育成等を重視する必要がある。そのためには社会からの尊敬と信頼、思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力を持ち、困難な課題に同僚と協働し地域と連携して対応できる教員が必要とされている。同社ではイノベーションや新たな社会を創造していく教職員を、ICTを通じてこれからもサポートし続けるとともに、地域と地域・人と人・そして点と点を結びながら地域の魅力を再発見し、社会貢献に取り組んでいる。



シームスブレインズ株式会社 HP

— 本号の主な内容 及び ORIC 連絡先 —

入居企業紹介 (シームスブレインズ(株))

我が社のいっぴん (ウイングーテクノロジー(株)、(株)ウイズレイ)

入居案内

飛翔発行元：岡山リサーチパークインキュベーションセンター
〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5303

TEL：086-286-9116 FAX：086-286-9117 E-mail：info@oric.ne.jp

【公式HP】 <http://www.oric.ne.jp>

No.69 (2020.7)

入居企業紹介 シームスブレインズ株式会社

【設立経緯】

岡山市東区の学校法人森教育学園（岡山学芸館高等学校）では、同学園が掲げる教育理念の基、先進的かつ独創的な生徒指導の手法を生み出し、ICTを活用した独自の校務処理システムを2003年に開発した。その校務処理システムを応用し、コンセプトをそのままに従来にはなかった全く新しい校務処理システムとして『生徒情報管理システム～Siems（シームス）』を2004年に発表した。主に私学の高等学校または中高一貫／併設校向けに同社代表の田中俊実が当時前職で販売を開始し、創業した2013年までの9年間に全国65校に採用された。

同社田中の前職から事業譲受する形で、原型開発元の学校法人森教育学園からも一部出資を得て設立した。

【生徒情報管理システム「Siems」とは】

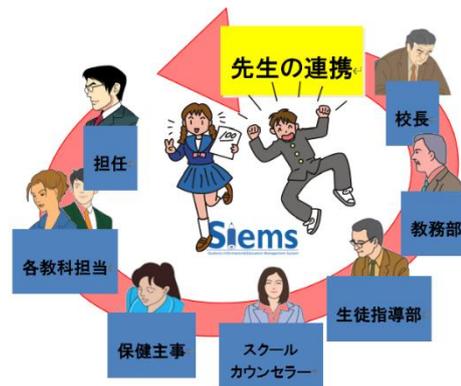
従来の成績処理を中心とした校務処理システムは操作が複雑で、入力業務が特定の教員に集中するなど非効率だった。最近ではカリキュラムの多様化により、生徒指導にカウンセリングマインドが求められるようになり、考査後の点数管理だけでは的確な生徒指導ができなくなっている。また、中高一貫校の増加で、生徒の生育歴をより緻密に把握することが必要となった上、成績のみならず生徒個人の成長を蓄積・共有するための仕組みが求められるようになった。



「Siems」では、従来の成績処理に加え、生徒の生活面を記録可能にし、生徒個人への指導内容を全ての教職員間で共有し、過去の情報をもとに生徒指導を行えるものとなった。教職員の様々な業務を支援する機能を実装し、誰もが簡単に利用できる操作性を備えることで利用率を高め、生徒に関係するすべての教職員が同じ目線で指導が行える環境を実現させることで、間違った指導を極力回避するこ

となども可能とした。その結果、校内の業務上のノウハウを蓄積するための情報基盤となり、業務効率の向上に加えて教職員のITリテラシー向上と同時に、学校現場の働き方改革にも寄与することとなった。

「Siems」は『教育の質の向上』と『生徒／保護者から選ばれる学校づくり』、そして校務の情報化により『働き方改革』を実現する。



【ORICでの研究開発】

入居当初計画した“スマートデバイスへの対応”については広島県の私立高校を実証実験校として開発を進め、2015年9月に稼働、2016年4月に商品化。同年9月には幼小中高一貫教育対応型システムが完成し商品化させた。また、“クラウド化”については大手代理店協力のもと、愛知県内の私立高校で対応を進め2017年3月より本格稼働させた。現在ではMicrosoft社のAzureでの稼働実績も増えており、ビジネスの中心的な位置づけとなっている。また、入試・勤怠・健康診断・保健室来室記録・生徒募集管理などのモジュール化も実現し、機能別の販売も開始した。その結果、現在130校を超える稼働実績となっている。ORICでの研究開発が認められ、平成26年度「おかやまIT経営力大賞」特別賞を受賞した。



シームスブレインズ株式会社

2013年3月設立 代表者：田中 俊実 資本金：970万円
事業内容：私立学校向け校務処理システムの開発・販売・保守、
地域情報ポータルサイト運営等
HP：https://www.s-brains.co.jp



低熱膨張性ポリイミドワニス ～高温面状発熱ヒーターへの応用～

ウィンゴテクノロジー株式会社は、自社開発した原料を使用したポリイミドワニスに放熱性フィラー（AIN、BN、SiC、グラファイト、ポリイミドナノファイバー等）を添加し、高付加価値機能性ポリイミド材料の商品化を実施しています。当社材料の特徴は「独自開発したジアミン PHBAAB を用いた可溶性ポリイミド」です。ポリイミドの状態では有機溶剤に可溶であり、独自の材料設計により低熱膨張性、低誘電率、高接着性、感光性、結晶化の誘発が可能です。

【高温面状発熱ヒーターへの応用】

従来のポリイミド被膜の高温面状発熱ヒーターは、ポリイミドフィルムと基材 SUS（ステンレス 30 μm厚）間で耐熱粘着剤を用いて接着する必要があります。しかし、一般的に耐熱粘着剤の耐熱性がポリイミドフィルムの耐熱性より低い為、ポリイミドフィルムの耐熱性を活かす製品設計自体が難しいことが問題点でした。また、基材 SUS が耐熱粘着剤と接する為、低熱膨張性による基材 SUS とフィルムの反り具合を調整することも考えなければなりません。

一方、当社のポリイミド（WGv-2510）は可溶性且つ優れた低熱膨張性を有しており、基材 SUS に直接塗ることが可能です（成膜時の乾燥温度は 250℃以下）。また WGv-2510 は設計段階で接着性も有しており、基材 SUS（Cu、Al も可）に対して直接接着することが可能です。その為、ポリイミドの特性を活かし、常用 200℃～250℃で使用可能、耐薬品性、屈曲性、薄い形状、設計の多様な特性を有した耐熱型面状発熱体の設計に有用です。

当社は、様々な機能を有したポリイミドを開発しており、下記の用途などへの提案も行っています。

【想定される用途例】

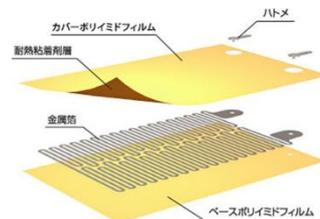
| | |
|---------|---------------------------------------|
| 自動車産業 | ドアミラー、燃料電池、バッテリー、配電盤、自動車ディスプレイ |
| 工業 | 装置保温、低温ヒーター、乾燥、デバイス保温、燃料電池、球場などの床暖房 |
| 住宅 | 保温機器、防曇、浴室ミラー用デフロスター |
| 自然環境 | 凍結防止、融雪、防霜、結露防止 |
| 電化製品・IT | ヒートシーラー、遠赤外線パネルヒーター、OA機器（複写機・FAX等）、PC |
| 研究機関 | 各種装置熱源、分析機器の熱源 |
| 医療・美容 | パイオ加熱、医療機器、美容機器、健康機器 |
| 食品 | 食品ショーケース用デフロスター、料理（食品保温）、冷蔵庫・冷凍庫の温度調節 |

【WGv-2510の特性値】

| 商品名 | 項目 | 測定値 | |
|------------------------|-------|----------|-----------------------|
| ポリイミドワニス (WGv-2510) | 電気特性 | 絶縁破壊電圧 | 5 kV |
| | | 体積低効率 | 10 ¹⁵ Ω・cm |
| | 熱特性 | 線膨張係数 | 16 ppm/K |
| | | 5%重量減少温度 | 501 °C |
| | 機械特性 | ガラス転移温度 | 304 °C |
| | | 引張強度 | 187 Mpa |
| 伸度 | | 17% | |
| SUS/ポリイミド | 引張弾性率 | 6.0 Gpa | |
| | 接着力 | 8 N/cm | |

※ポリイミド厚み2.5 μm、ステンレス厚み30 μmの参考値

※構成：NMPに溶解、固形分12%、粘度100Poise (at25°C)



【従来のポリイミドフィルムの構造イメージ】



【高温面状発熱ポリイミドヒーター】

ウィンゴテクノロジー株式会社

2016年5月設立 代表者：ウィンモーター

資本金：21,500万円

事業内容：次世代素材を製造する高機能

可溶性ポリイミドの設計・

開発・製造・販売



ウィンゴテクノロジー(株) HP

ORIC 今後の予定

現在、ORIC では岡山県よろず支援拠点様にご協力頂き、「知って得する勉強会」を開催しています。7月は岡山県よろず支援拠点 河井コーディネーターをお招きし、『企業 PR・販売促進のオンライン活用方法』を開催致しました。8月、9月、10月も営業に繋げる顧客管理方法や、補助金申請のポイント、市場調査の方法とマーケティング分析等をテーマに勉強会を実施予定です。開催案内は随時 ORIC HP に記載していく予定ですので、ご興味のある方はお問合せ等頂ければと思います。





散薬監査支援装置

kōnamiru コナミル

株式会社ウィズレイは、分光分析技術を応用した調剤支援装置の開発を行っています。病院・薬局の調剤現場では、薬剤師が調剤した医薬品を確認しなければならない場面がたくさんあります。従来はこれを薬剤師の目視と経験に頼って行っていましたが、間違いの許されない作業であり薬剤師には相当な心理的負担がかかっています。これを解決するため、弊社では近赤外分光法やラマン分光法といった分光分析手法を用い、非破壊・非接触で迅速・簡便に薬物を判別できるシステムを構築しています。このようなシステムを調剤現場に導入していくことで、薬剤師の対物業務を軽減し、薬剤師がより対人業務に集中できる環境を構築していきたいと考えています。



第一弾の製品として、薬剤師が調剤し一包化した粉薬が処方箋通りの内容になっているかどうかを、近赤外分光法を用いて瞬時に判別する散薬監査支援装置「コナミル」の試作機を完成させています。すでに県内の病院・薬局のご協力のもと「コナミル」のテスト運用が終了し、ここで得られた測定データや薬剤師の声をもとに、大手調剤機器メーカーと協力しながら最終製品へと改良を重ねているところです。「コナミル」の年内の発売を目指すとともに、第二弾、第三弾製品の研究開発も進めています。

株式会社ウィズレイ

2019年7月設立 代表者：森山 圭 資本金：530万円

事業内容 分光分析を用いた医薬品および化学物質判別装置の開発および販売

医薬品および化学物質の分光スペクトルデータベースの管理、運営、および販売

分光スペクトル照合解析アルゴリズムおよびアプリケーションの開発および販売

分光スペクトル照合解析ネットワークシステムの開発および販売



(株) ウィズレイ HP



ORIC は岡山県の公共施設で、創業・第二創業を支援する施設です。

ORIC の部屋を活用頂き、施設マネージャーが創業手続きや事業の悩み事に対して相談対応しています。

<ORIC の活用メリット例>

- ・「岡山県工業技術センターの機器使用料半免」
- ・「創業時に役立つ補助金情報や支援情報が得やすい」
- ・「定期的に事業に役立つ無料勉強会を開催」 etc.

| 名称 | 部屋数 | 月額利用料金 | |
|--------------------------------|------------|----------|---------|
| | | 基本料金 | 半免対象(※) |
| 研究室 (2.5 m ²) | 22室 | 47,130円 | 23,565円 |
| 研究室 (5.0 m ²) | 30室 | 92,180円 | 46,090円 |
| 試作開発室 (10.0 m ²) | 6室 | 183,330円 | 91,665円 |
| 創業準備室 (1ブース 5 m ²) | 1部屋 (6ブース) | 5,000円 | - |

※半免対象：新規に入居する個人、または創業後5年未満の企業は、入居後3年間を限度に基本料半免となります。

お問合せ先

岡山リサーチパークインキュベーションセンター

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5303

TEL 086-286-9116

E-mail info@oric.ne.jp

